

共生社会ホストタウン追加登録団体の活動計画（2021年5月28日）

自治体名 (所在都道府県名)	相手国	活動計画
広島市 (広島県)	メキシコ (パラ陸上、 パラ水泳)	<p>【パラリンピアン等との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年6月にメキシコパラリンピック委員会会長及び関係者と、広島市平和記念公園の訪問や原爆死没者慰霊碑への参拝等を行った。東京大会のパラ陸上・パラ水泳の事前合宿受け入れの際にも、広島市平和記念公園の訪問を実施するなど「ヒロシマの心」の発信をテーマにした交流等を実施予定である。 <p>【ユニバーサルデザインの街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年6月のメキシコパラリンピック委員会による視察の際、練習会場である屋内プール施設のトイレのバリアフリー対応の要望があり、それを受け改修を行った。市中心部やJR駅周辺の公共施設や民間施設のバリアフリー設備の整備状況について、市ホームページにマップ形式で掲載し毎年更新している。 <p>【心のバリアフリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年には障害のある人を中心とした世界ヨット大会の「ハンザクラスワールド広島大会」をアジアで初めて開催した。今後も国際的・全国的なバラスポーツ大会の誘致や、障害者スポーツ大会への出場者に対し補助金を交付するなどスポーツを通じた心のバリアフリーに取り組む。市、事業所及び市民が一体となって障害を理解し差別の解消に取り組むため、2020年10月に「広島市障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」を施行した。
府中市 (広島県)	メキシコ (パラ卓球、 ポッチャ)	<p>【パラリンピアン等との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メキシコのパラ卓球、ポッチャの事前合宿受け入れに際し、バリアフリー対応済の市立総合体育館を使用し、市体育協会や市身体障害者福祉協会との交流会や親善試合等を予定している。今後、市内の県立高校出身のパラサイクリング選手による講演会や交流会を実施予定である。 <p>【ユニバーサルデザインの街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年に整備した「道の駅びんご府中」は、バリアフリー対応のトイレや駐車場、点字ブロックを設置している。市民、子ども、障害者等によるまち歩き点検等を実施し、公共施設や都市空間の段差の解消や、ピクトグラム表示や配色への配慮等のユニバーサルデザインの環境整備に取り組む等、誰もが安心して暮らせる空間整備を実施している。 <p>【心のバリアフリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中市社会福祉協議会、障害福祉サービス事業所等と連携し、車いす体験等の実体験を中心とした社会教育を、市内の小学校で実施している。また、心のバリアフリーや障害理解をテーマにしたコンサートの「つなごうDay」を毎年実施し、障害者と健常者が一緒にコンサート鑑賞や歌を歌うなど、障害者の文化活動などへの参画を、15団体からなる実行委員会が中心となって実行している。
廿日市市 (広島県)	メキシコ (パラ柔道)	<p>【パラリンピアン等との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年1月に、メキシコパラ柔道選手と市内の障害児とアーチェリー交流を実施した。今後、毎年開催している西日本少年柔道大会にメキシコパラ柔道関係者を招致し、子供、指導者等が継続して交流できる体制作りを進めている。2017年12月にはパラ卓球の別所キミエ選手の講演会と実技体験会、2019年12月にはパラトライアスロンの円尾敦子選手の講演会と車いすリレー等の交流会を実施した。東京大会ではパラ柔道の事前合宿の受け入れを予定している。 <p>【ユニバーサルデザインの街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産宮島周辺では、民間企業とパートナーシップ協定の下、2019年に身体状況に合わせて手すりや便器の位置を選べる車いすトイレ等を設置した。2020年には宮島口棧橋ターミナルのバリアフリー化対応を実施した。また、障がい福祉相談センター等が入所している複合施設「あいプラザ」では、車椅子専用駐車場、障害者対応トイレ、点字ブロック等が完備されている。 <p>【心のバリアフリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や市役所等の窓口に、筆談ボードを設置し、障害者との円滑なコミュニケーションを進めている。障害者芸術・文化作品の展示会「はつかいちあいアート展」を2019年度から開催し、自閉症・発達障害のテーマカラーの青色の手形・足形による作品を展示する等を行っている。また、民間事業者と協力し、ウォーキングサッカー、インクルーシブサッカー教室等のインクルーシブスポーツの取組も実施している。

登録内容に変更のあった既登録団体 ※下線部が変更のあった内容

自治体名 (所在都道府県名)	相手国	活動計画
札幌市 (北海道)	ウクライナ、 <u>カナダ</u> (ゴールボール)	<p><u>【パラリンピアン等との交流】</u></p> <p>・日本人パラリンピアン等を講師として、教員や障害者スポーツ指導員を対象としたシットスキー等の指導者養成講習や、市民を対象とした冬季バラスポーツ体験会を継続的に実施している。今後、ウクライナゴールボール代表による学校訪問やゴールボール体験会を実施するとともに、大会後もウクライナとの交流を継続する。<u>またカナダ女子ゴールボール代表と市内の児童生徒を対象としたオンライン交流を実施するとともに、大会後もカナダとの交流を継続する。ウクライナ、カナダ共に、2022北京冬季オリンピックの合宿誘致を目指す。</u></p> <p><u>【ユニバーサルデザインの街づくり】</u></p> <p>・地下鉄駅へのエレベーター設置（全駅設置済）や増設、UDタクシーやノンステップバスの導入補助といった公共交通のバリアフリー化のほか、円山動物園（点字ブロック、エレベーター設置等）や公園等のバリアフリー化を進めている。また、公共施設のバリアフリーチェックやバリアフリータウンマップ作成も行っている。</p> <p><u>【心のバリアフリー】</u></p> <p>・円山動物園で障害者を無料で招待する「ハーティナイト」を2006年から継続して実施している。また、「心のバリアフリーガイド」の配布、市民向け出前講座、障害児童文化作品展等も実施している。さらに、企業や地域で普及啓発を担う「心のバリアフリー普及員・推進員」の養成研修を2020年度より新たに実施する。</p>